

# ウラル学会通信

第 67 号

2009 年 5 月発行

## 訃 報

2008 年 10 月 27 日に柴田正前理事（椋山女学園大学）がご逝去されました。

柴田前理事は、ウラル学会発足当初から学会の活動に関わられ、特に、長きにわたって学会の事務局を務められるなど、ウラル学会の活動を支えてこられました。去年の大会ではお元気な姿を目にさせていただきに、残念でなりません。享年 68 歳でした。謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。

なお、通夜には井上会長および佐久間が、また、告別式には小泉前会長および佐久間が参列いたしました。また、ウラル学会として斎場に供花一對をお供えしました。

## 第 36 回ウラル学会研究大会研究発表者の募集について

第 36 回の研究大会・総会は、来る 7 月 11 日(土)に、京都産業大学(京都市)で開催されます。研究発表をご希望の方は、6 月 7 日までに、氏名、所属、発表題目を事務局(佐久間)までご連絡ください。研究発表の際、何らかの機器類が必要な方は合わせてお知らせください。

## 事務局便り

### 1. 第35回ウラル学会研究大会・総会について

第35回の研究大会・総会は、昨年7月5日(土)、名古屋大学で開催され、予定通り無事終了いたしました。午前中は、各国におけるウラル学の研究成果を振り返る講演企画の第一弾として、次の2件の講演を行ないました。

小泉 保 「フィン・ウゴル語の音声と形態について」

池田哲郎(京都産業大学) 「ハンガリーの言語学とヨーロッパ」

また、午後は次の4件の研究発表を行ないました。

小川誉子美(横浜国立大学) 「大戦下フィンランドにおける日本語講座の展開と位置づけ —桑木務を迎えて—」

原 千晶(大阪大学大学院)

江口清子(神戸市外国語大学)

早稲田みか(大阪大学)

「ハンガリー語動詞接頭辞 ki-の意味構造」

松村一登(東京大学)

「エストニア語の動詞 jõudma「できる;至る」の多義性について —新聞記事コーパスに基づく予備的考察—」

小泉 保

「知覚動詞の構造について」

### 2. ウラリカ 15号について

ウラリカ 15号につきましては、編集委員会からのご案内の通り、3月末日締め切りで投稿論文を募集したところ、全部で7件の投稿がありました。現在、投稿された論文の査読を進めており、修正、再査読等を経て、本年秋には刊行の予定です。

今回は、特に若い世代からの投稿が多く、ウラル学会の将来にとって大変良かったと思います。投稿された方、査読に携われた方、ご協力ありがとうございました。次号以降もどうぞよろしく願いいたします。

### 3. ウラル学会 2007年度(2007年4月1日～2008年3月31日)会計報告

収 入		支 出	
前年度より繰越	571,252	通信費	1,844
会費	89,000	消耗品	4,720
郵便貯金利子	384	ホームページ維持費	5,300
寄付	300		
計	660,936	計	11,864
		次年度へ繰越	649,072

#### 4. ウラル学会の会費について

既にご案内のように、2008年度から、一般会員の普通会費を3000円から5000円に値上げいたしました。ウラル学会の運営は、会員の皆様の会費によって成り立っております。2007年度は支出額が少なく済みましたが、今年度はウラリカ15号の刊行も予定されていますので、ぜひご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

##### ウラル学会会費規定

第1条 ウラル学会会則第5条および第7条の規定に従い、会員は毎年、年度末までに会費を納入しなければならない。

第2条 年会費の額は以下のとおりとする。

普通会費 学生 3,000円

一般 5,000円

維持会費 一口 10,000円

第3条 年会費は本会指定の郵便振替口座に払い込むものとする。

第4条 年度の途中で退会する場合であっても年会費は返還しない。

第5条 5年以上会費の納入がない者は会員の資格を失う。

第6条 本規定の変更は理事会および総会の議決を要する。

付 則 この規定は2008年4月1日より施行する。

会費は、**郵便振替口座 00870-9-120029 ウラル学会**にお振込みください。

学生の方は、従来どおり、3,000円をお願いいたします。なお、普通会費の他、一口10,000円で維持会費も募っております。ウラル学会の一層の発展のため、ぜひご協力をお願いいたします。維持会費ご納入の際は、お手数ですが、振込用紙に口数をお書き添えください。

過去に未納分がある方は、合わせてご納入いただければ幸いです。**2007年度までの未納分につきましては、学生、一般を問わず、年3,000円**をお願いいたします。「会費規程」の第5条にありますように、5年以上会費を納入いただけない場合は会員資格を失うことになりますので、ご注意ください。

#### 5. ウラル学会理事会および総会の開催について

2008年7月5日に開催した第35回ウラル学会研究大会に合わせ、2008(平成20)年度第2回理事会および総会を開催いたしました。主な議題は、1) 2007(平成19)年度決算および監査報告、2) 役員の変更、3) 新入会員の承認、4) 第36回研究発表大会の開催日時および会場、5) ウラリカ15号の編集方針、でした。

このうち2)につきましては、改選の結果、以下の役員を選出いたしました。新任の岡本幹事以外はすべて再任です。下記役員の任期は2008年7月から2010年7月までの2年間となります。

**会長** 井上紘一  
**理事** 池田哲郎、佐久間淳一、庄司博史、深谷志寿、松村一登、早稲田みか  
**幹事** 岡本真理、田代直也、千葉庄寿、吉田欣吾  
**会計監査** 石本礼子、萩島崇

また、小泉前会長を名誉会員に推挙することに決しました。

3)の議題につきましては、2名の入会が承認され、会員数は54名となりました。ただし、そのうち、11名の方は5年以上会費未納のため、事務局から会費納入のお願いをすることになりました。

## 6. 学会ホームページについて

ホームページのアドレスは <http://www.ural-gakkai.jp> です。ぜひ一度ご覧ください。内容はだんだんと充実させていきたいと考えておりますが、内容についてご意見などございましたら、松村理事(kazuto@kmatsum.info)あるいは事務局までお願いいたします。

**通信は添付ファイルで送ることもできます。郵送は不要という方はお知らせください。また、転居などで異動が生じた場合は、お手数ですが事務局までご一報ください。**

[ウラル学会事務所]

〒573-0195 大阪府枚方市穂谷 1-10-1

関西外国語大学国際言語学部 井上紘一 研究室

[ウラル学会事務局(佐久間淳一)]

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学文学研究科言語学研究室内

tel. 052-789-2275

fax. 052-789-2666 (番号が変わりました)

e-mail [jsakuma@lit.nagoya-u.ac.jp](mailto:jsakuma@lit.nagoya-u.ac.jp)